

2020年5月15日

一般社団法人 新経済連盟
代表理事 三木谷 浩史

緊急事態宣言の完全解除後を見据えたコロナ問題への対応について

今般、緊急事態宣言が一部解除され、その解除基準が明示されたことは、同宣言の完全解除に向けた『出口戦略』明確化の一步であり、当連盟としてもこれを支持するものである。

他方、既に視野に入った完全解除後の「新しい日常」を見据え、そのなかで日本経済を再活性化するためには、今後も官民一体で感染の再拡大防止策を効果的に推進していく必要がある。

当連盟はこの認識のもとに、当面の方策を以下のとおり提案する。政府には本提案の実施についてご検討いただきたい。また、その実施にあたっては、当連盟も民間の立場から全面的に協力していく所存である。

記

1. 基本的な考え方

- ・必要なデータを迅速かつリアルタイムに把握し、それに基づき効果的な対策をタイムリーに実施する。そのために、『検査と待機の徹底』を一丁目一番地の対策として位置付ける。
- ・従来の体制による対応にこだわらず、民間の活用や海外での最新の知見の活用を含めた官民一体となった体制整備を行う。

2. 具体的な方策

(1)検査と待機の徹底

国民『全員』を『定期的』にPCR検査することを最終目標とする。

ア. 検査体制の拡充

- ・PCR検査については、ドライブスルー、ウォークスルー方式の拡充のほか、外出抑制の中で、非対面化・自動化・オンライン化を実装する。
- ・官民の各大学・研究機関におけるPCR機器の検査活用への一層の拡充を図る。
- ・国民が保健所や医療機関等へアクセスすることの困難性をなくし利便性を向上させるためのシステム整備や体制整備等を図る。

イ. 待機先の受入れ体制の拡充

- ・都道府県ごとに全国でホテルの借上げをする方針を明確化し着実に進める。
- ・オンライン診療での経過観察と必要な医薬品の受取りを可能にする。

・待機先での生活面への配慮、職場等復帰に関するガイドラインの周知など国民の不安感を払しょくする。

ウ. 陽性者に対する追加検査と分析

・重症化原因の分析等を実施する。

エ. その他必要な措置

・全国のホットスポットなどへのAIサーモセンサーを導入する。

(2) 医療提供体制の充実強化

① マスク、防護服、人工呼吸器の早急な整備充実を引き続き図る。

② オンライン医療提供体制の整備

・三位一体での改革(オンライン完結の診療の導入、オンライン完結の服薬指導の導入、電子処方箋を使った効率的な医薬品提供の実施)を着実に実装していく。

※なお、本措置は、今回のための時限措置だけでなく、恒久的に講ずることが必要なもの

③ 緊急事態の最前線に直面している医療従事者に対する職場環境・生活環境整備や応援キャンペーン等による支援

④ 医療機関への支援の充実強化

(3) 社会的近接を避ける行動変容による蔓延防止

① Work From Home 導入の環境整備

② ソーシャルディスタンス啓発活動の官民連携プロジェクトの推進

(4) 創薬・治験の促進

① 新型コロナウイルスを克服するための創薬や治験の促進

② Gavi ワクチンアライアンスなど国際的な枠組みへの関与(日本政府による拠出額増加など)を継続的に強化する姿勢を国内外に示すことにより、必要なリソースを日本に集める。

以 上